

令和2年1月15日(水)

【第18回北陸地域連携プラットフォーム】

開 会 挨拶

座長 中村 信一

開会に当たり、一言御挨拶申し上げます。

北陸地域連携プラットフォームでは、これまで開催してきた中で「地方創生」をテーマとした議論などを行い、その結果を地域に向けて発信してまいりました。

こうした中、2015年度にスタートした国の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」も最終年度を迎え、昨年12月には2020年度を「第2期初年度」とする次期総合戦略が閣議決定されたところです。

各地域におきましても第1期の総仕上げとともに、今後順次、第2期「地方版総合戦略」が策定されていくものと思いますけれども、北陸地域の現状をみますと、北陸新幹線の開業効果が続いている一方で、人手不足問題やあるいは若年層を中心とした都市圏への人口流出が続いておりまして、依然として、地域や産業活動の活力低下が懸念されているところでございます。

地域の将来は、それぞれの地域が持つ特徴・特性を踏まえ、地域自身が考え、議論し、やるべきことを選択することによって、活力に満ちた特色ある地域を創生していくことが大切であります。しかしながら、地域には様々な問題があり、それを地域のみで解決していくことはなかなか難しい面があります。

そういった観点から、本プラットフォームとしても、本日の「地方創生」に関する基調講演を踏まえた、今後の地域のあり方などについて議論を行い、発信していくことで、地域活性化への支援を行っていきたいと考えております。

メンバーの皆様方には、本日も、積極的・活発な御発言をお願いしまして、簡単ではございますが、座長挨拶といたします。

以上